



原田 健志

幼児教育のこれから

**問** 少子化の傾向が著しい能勢町において、幼児教育のこれからのありようをどう考えているか。

**答** 少子化著しい町における幼児教育のあり方は保育の量・質的な拡大、確保を前提に、総合的に判断せねばならない。

幼児教育の環境整備、低所得、多子世帯の負担軽減など、現在取りまとめ中の「ニーズ調査や『子ども・子育て会議』における議論などを踏まえ、円滑に平成27年度からの新制度移行できるよう必要な準備、制度設計を進めていく。

議員提案に対する姿勢

**問** 一般質問等で議員が提案している事案に対し、町はどう対する考えであるのか。

**答** 施策に反映すべき内容については、当然積極的に取り組んでいきたいと考えている。

- 一、幼児教育のこれから
- 二、議員提案に対する姿勢
- 三、生命・安全・財産を守る為に

防犯カメラ設置について

**問** 防犯カメラ設置については、これまで複数の議員によって様々な観点から提案がなされてきた。防犯面、見守りの福祉面、通学などの安全面、不法投棄などに対する環境の面など、この提案を受け、町全体への計画的配置に向けての考えは。

**答** 府より、本町設置の地域インフラ回線を使い道路監視カメラの運用が求められた。その運用に關し、町のやろうとすることが実現できるような条件を加え、町・府間で協定書を締結している。メリットは、既に各公共施設にインフラ配線が多数行き渡っているため、これを軸に整備が可能であると考えられる。

防犯的な観点からインフラ回線未整備の地点であっても、別途単体の録画機能つきカメラをつけることも考えられる。全体的として、前向きに取り組んでいく。

生命・安全・財産を守る為に

**問** 昨年の台風等被害の復旧への取組みについて。議会は、予算措置等において相応に協力姿勢を示し、早期復旧をもつて町民の生命・安全・財産を守ることを求めた。

しかし現状を見ると、住宅周辺の崖崩れ、農地、農業関連の復旧など、なかなか進まなく、みられない、町において町民の生命・安全・財産を守るといふ、基本的なことが少々おろそかになっているのではないかと。

**答** (部長) 指摘は十分理解をする。ただ今回、工事請負、発注関係につき不調という事象が多発し、遅れが生じている。地域、関係地元の方々には、土木災害の町道、河川等の件につき、その旨説明をしている。もっと丁寧に説明をせよという指摘には、心改め努める。

一般質問



木戸 俊治

行財政改革の取組みと予算編成は万全か

**問** 本町の財政状況は大変厳しい状況にある。町報に「行財政改革プログラム素案」を掲載、財政見通しでは平成35年度に財政再生団体への転落が見込まれるとし、理解と協力を求めている。

そこで行財政改革の具体的な取組みと平成26年度の予算編成について伺う。

**答** 従来の枠配分方式による予算編成が、一部予算の劣化の誘因となっているとの判断から、厳正な積算に基づく予算編成を指示したところである。編成過程において職員間の現状認識、問題意識が共有され例年になく有意義な予算編成につながったものと認識している。

行財政改革の取組みと予算編成は万全か

更に職員のモチベーションを低下させないため

将来世代に過重な負担を先送りしないという原理原則を徹底することにより、全職員一致団結して取り組むことが必須であると考えている。

**問** 人件費については職員適正化計画に基づき、可能な限り縮減に努めるとしているが、どのように考えるか。

**答** 平成27年度時点の正職員数を120名、平成35年度職員105名、嘱託職員57名と目標を定め、総人件費の抑制に努めている。

**問** 行財政改革実施にあたり住民サービスの質の維持向上は図れるのか。

**答** 行財政改革によって財政の持続性を担保しつつ、多岐多様にわたる行政需要を的確に把握した上

で、自助・共助・互助・公助による施策、事務事業を構築し、その両立を図っていききたい。

**問** 財政健全化の指標についてはどうか。また職員の現状認識の共有は出ているか。

**答** 早期健全化判断比率等について、突破する年次が明確になり、再生団体に転落する年次についても具体的なものとして現れてきた。大型の公共事業が実行段階に変わり、現実にもやらなければそうなるため本気で取り組んでいく覚悟である。

今後、職員向けの説明会も考えており、全職員が同じ危機感を持って取り組みを進めたい。